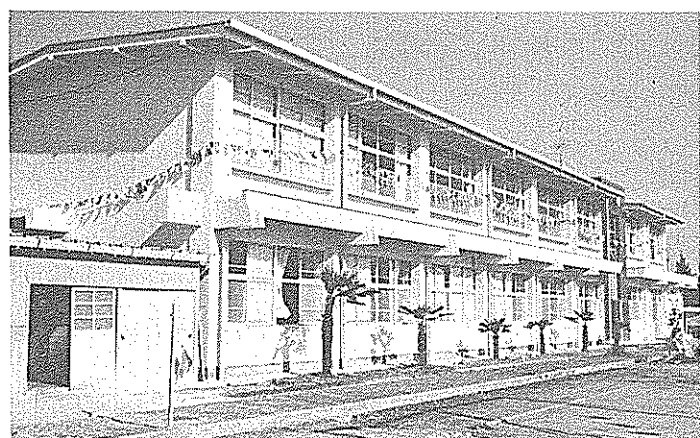


# 後免野田小校舎が落成



昨年七月下旬から進められていた後免野田小学校(前田富校長)児童三百一人の校舎増築工事がこのほど完成、十二月十七日落成式が行われました。

今回建設されたのは、普通教室五教室で、これは四十二年に建設された南校舎(鉄筋コンクリート造三教室の一階部分)に一教室、二階部分に四教室を増築したもので、鉄筋コンクリート造二階建て、二階部分は耐火鉄骨造、教室をはじめ、女喫、便所などの建築面積は延べ五六二平方メートル、総事業費五百五十万円。

この経費としては、国庫補助金一千二百三十万円、地方債二千三百十万円、市費六百十万円となつて

## 南校舎に5教室を増築

普通教室など5150万円で

ています。

同校では、ここ数年の児童数、学級数の増加などから、特教室を普通教室にあてるなど、教室不足が深刻な悩みとなっていたもので

十七日は午後一時から新校舎玄関前で神事が行われ、前田校長や児童代表の生盛英一君(六年)らが玉ぐしをささげたあと、会場を講堂に移して記念の式典が開かれました。

式には全校児童をはじめ、関係者約百五十人が出席、田岡収入役が「この日はな学校を愛し、勉学に励んでください」と、小笠原市長の式辞を代読、工事報告などがされたあと、児童を代表して戸梶直人君(六年)が「黒板窓、



## 交通遺児のために

### マラソンで日本一周の女性



ご用始めの一月四日、マラソンで日本一周をしている女性が市役所を訪れ、交通遺児のために役立ててほしいと、現金三千円を寄付しました。

この女性は、波多野妻さん(70) 東京都新宿区。仕事の合間を利用して全国各地を廻っているもので、四国に来るのは今回が二度目。白地に黄色のラインの入った運動服に身をつんだ波多野さん、太郎田福祉事務所長に現金を手渡したあと、野市方面へと元気に駆け出していきました。

## 市職員採用試験 合格者発表

南國市職員採用試験最終合格者が次のとおり決まりました。

行政・北村健一(立田) 田淵博之(岡豊) 光野末吉(大畑)

保母・田中敦子(浜改田) 岩原佐賀(白木谷) 別役曉美(篠原) 吉村恵子(小池) 竹中世津(前野) 福岡久美子(東崎)

技能職・岩崎曉美(竹枝) 吉川理恵子(大地) 西原美奈子(中谷) 岩川富子(園分) 豊永恵子(畑) 志利岡美紀(小池)

なお、採用は定数内職員の欠員の状況により昭和五十三年四月一日以降になります。が、採用候補者名簿の有効期限が原則として同年十二月三十一日まででありますので、この間に職員に採用されない時はこの資格は失うこととなります。

保母資格取得中の場合は、昭和五十三年三月三十一日までに資格が取得できないと合格は取り消しとなります。

## 土曜日で チャリティー 「せり売り」



歳末の買物でにぎわう「土曜市」で、十二月二十四日、クリスマスチャリティーオークション(せり売り)が行われた。

これは、市土曜市組合(石本貴一郎理事長)組合員八十八人が売り上げ金を恵まれない子供やお年寄りに贈ろうと企画したもので、今回が初めての催し。

会場には、日用品をはじめ、野菜、植木など百点あまりが組合員らによって持ち寄られ、午前十時過ぎから「せり売り」が始められた。この日は小笠原市長も顔を見せ、「この盆栽、はいくら?」などと威勢のいい声をはりあげて売り上げに協力していた。市長が数点をせりにかけてとあって、なかなかふん開気の中でチャリティーオークションが進められた。

この品物は、組合員や市内有志の善意による品々であって、どれも「格安」で好評。なかには、標

## 紀貫之船出記念句会

### 土佐のまほろば、国府の里で



土佐の「まほろば」国府の里で、十二月十一日、「紀貫之船出記念句会」が開かれまし

た。

紀貫之の船出は承平四年(九三四年)の十二月のこと。土佐國司として延長八年(九三〇年)にこの地に着任、四年間比江にいて、承平四年に任満ちて海路京都に帰った。

記念句会は、この船出にちなんで開かれたもので、史跡をみんなに知ってもらい大切にしてもらおうというのねらいの一つ。主催は国府史跡保存会(乾市美会長)。県俳句連盟なども共催しており、今回が初めての催し。

午後一時、地元比江若草句会や国府俳句会をはじめ、南國、高

## 永年の活躍をたたえて



市民生委員協議会の歴代総務会長 長 の掲額式が、十月十九日、社会福祉センター内の協議会事務所で行われました。

これは、故・八井田茂実さん(下末松)初代、松下仁さん(久枝)二代の永年の活躍をたたえるもので、協議会の役員二十人あまりが参加して、額の披露を行いました。